

下書き

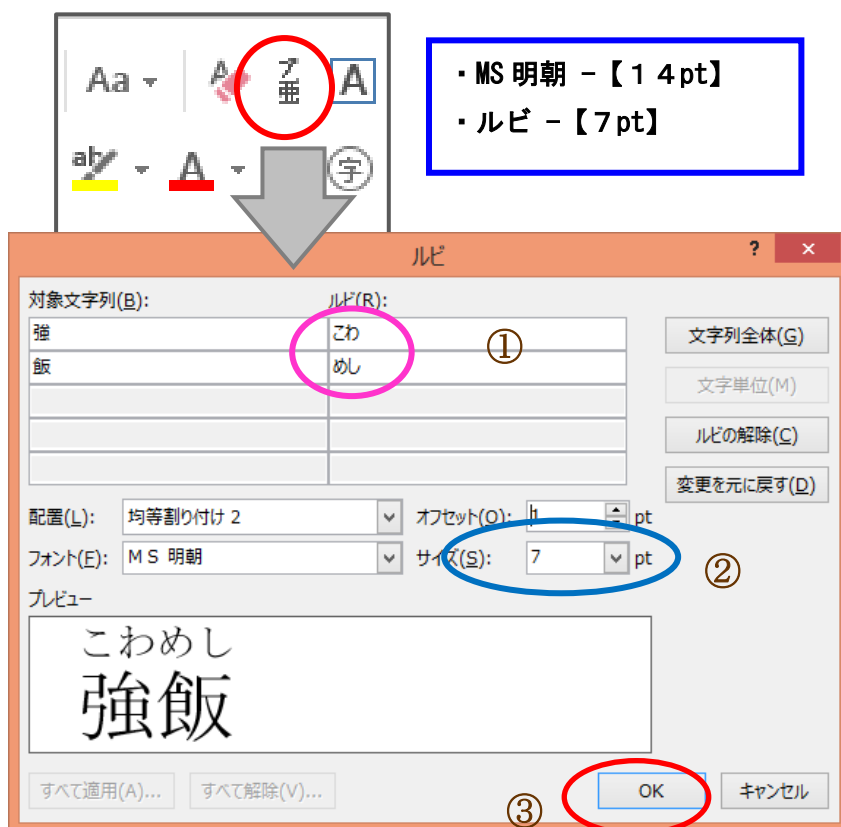
赤飯

もともとは強飯という神前に供えるご飯が、赤味がかっていたことに由来しています。小豆と一緒に炊いて赤味をつけます。赤飯の赤い色は、そのむかし、「厄払い」の色として使われてきました。赤い色が幸福の色になったのは、苦境を乗り越えようとした祖先の前向きな生き方からといわれています。



赤飯

もともとは強飯^{こわめし}という神前^{しんぜん}に供えるご飯が、赤味がかっていたことに由来しています。小豆^{あずき}と一緒に炊いて赤味をつけます。赤飯の赤い色は、そのむかし、「厄払い^{やくばら}」の色として使われてきました。赤い色が幸福の色になったのは、苦境^{くきょう}を乗り越えようとした祖先^{そせん}の前向きな生き方からといわれています。



赤飯

もともとは強飯こわめしという神前しんぜんに供えるご飯が、赤味がかっていたことに由来しています。小豆あずきと一緒に炊いて赤味をつけます。赤飯の赤い色は、そのむかし、厄払いやくばらの色として使われてきました。赤い色が幸福の色になったのは、苦境くきょうを乗り越えようとした祖先そせんの前向きな生き方からといわれています。

